

Yellow Cup

2023年1月6日～8日

開催日	1月6日（金）				
チーム名	スコア				チーム名
日本	31	16	前半	17	35
		15	後半	18	
スイス					

No.	名前	得点	戦評
1	中村 匠	0	<p>日本は攻撃は、プレーメーカーに日本代表デビューの安平を配置。部井久と渡部がバックコート、サイドには同じく日本代表デビューの藤田と、この大会からキャプテンとなった杉岡。ポストに吉田の布陣。</p> <p>守備は、GKに坂井、成田をセンターDF、部井久をトップDF、2枚目DFに渡部と吉田、1枚目DFに藤田と杉岡を配置した「5-1 DF」でゲームスタート。</p> <p>試合開始、No.4 Lenny Rubin（HSG Wetzlar）の高さを活かしたディスタンスシュートが決まりスイスが先制。日本は安平が杉岡にパスを供給し、杉岡のサイドシュートが決まり試合が動き出す。スイスはラインプレーヤーを使った攻撃を展開し、試合を優位に進めていくが、坂井の好セーブもあり、一進一退の攻防が続く。前半10分過ぎには吉野を投入。吉野のブレイクスルーで、前半15分には7対7の同点。前半20分にも可児のブレイクスルーで得点するもリードが奪えず同点のままゲームが進行する。前半終了間際には、GK岩下が、No.2 Andy Schmidの7mTをセーブ。そのまま速攻から安平が決めて16対17で前半終了。</p> <p>後半戦も安平のリードから試合を展開していくが、膠着状態が続く。後半10分には藤田が日本代表として初ゴールを決める。しかし、後半15分あたりから日本代表のテクニカルミスや判断ミスもあり徐々に点差が離れていく。日本代表は安平の7mT、吉野のディスタンスシュートで加点するもののリズムが掴めない時間帯が続き、後半20分にはDFシステムを6-0DFに変更するものの、そのまま試合は31対35で終了。</p> <p>この日、日本代表デビューとなった安平、藤田、可児が初出場初得点を挙げたことは、今後につながる大きな収穫であったが、一方で試合終盤のゲーム構成や戦術の徹底などにも課題を残した。</p> <p>次戦はオーストリア代表戦。</p>
2	安平 光佑	4	
6	藤田 龍雅	1	
7	蔦谷 大雅	0	
9	杉岡 尚樹	1	
12	岩下 祐太	0	
13	吉田 守一	0	
15	部井久アダム勇樹	3	
17	坂井 幹	0	
18	成田 幸平	0	
19	徳田 新之介	4	
20	渡部 仁	3	
31	吉野 樹	10	
34	藤川 翔大	0	
40	富永 聖也	0	
44	高野 颯太	1	
74	笠原 謙哉	0	
99	可児 大輝	4	